



緩和ケア新聞

回覧

平成28年3月

飛騨市民病院では緩和ケアチームを平成18年に発足させ、院内の緩和ケア推進のために活動してきました。また、平成19年には緩和ケア外来も開設しました。

「緩和ケア」ってなあに？

緩和ケアとは、がんなど生命を脅かす病気と診断された時から治療の間、そしてその後の生活の中で生じる身体的な苦痛や気持ちのつらさを少しでも和らげるため、それぞれの患者さんとご家族が“その人らしく”過ごせるように支援させていただくことです。

「緩和ケア」はがんと診断されたときから始めます。

体や心などのつらさが大きいと、体力を消耗することにより、がんの治療を続けることが難しくなります。そのため、がんと診断されたときから、「つらさをやわらげる＝緩和ケア」を始める事が大切です。

また、早い段階から緩和ケアを受けた場合、生活の質(Quality of Life=QOL)が改善され、予後にも良い影響があるという調査報告もあります。



<緩和ケア外来>

毎週火曜日
診療時間15:00～17:00
受付時間16:30まで
問い合わせ先：
TEL. 0578-82-1150(代)

<主な相談内容>

- ★ 痛み、だるさ、息苦しさなどの変調について
- ★ 病気になったことで起きる様々な心配ごと
- ★ 病気のことを知る怖さや不安について
- ★ 在宅療養の支援について
- ★ 家族が持っている悩みについて 等

がんとわかったら……。

私達は不安や動揺をお聞きし、これからのことや
その中で大切にしていきたいことを、
一緒に考えていきたいと思えます。



今、どんなことが心配ですか？
心配なことについてチェックしてみ
てください。

●診断について

- がんという診断は、確定なのでしょうか
- これからまだ検査を受ける必要はあるのでしょうか
- 今後、どのような症状が出てくるのでしょうか。また、
なお治る可能性はどのくらいあるのでしょうか。

●がん治療にかかる医療費について

- 治療には、どのくらい費用がかかるのでしょうか
- 治療は健康保険でカバーできるのでしょうか。また、
どこに問い合わせればよいのでしょうか
- 民間のがん保険で保証される範囲はどこまでで
しょうか

●これからの生活について

- これまでのような生活を送る事は出来るのでしょうか
- 治療が始まるまで、日常生活で気を付ける事は何
なのでしょうか
- 会社にはいつまでに復帰出来ますか
- 治療中でも仕事を続ける事は出来るのでしょうか
- 復帰後も治療を続けなければならないのでしょうか

●治療法について

- どのような治療法があるのでしょうか
- その治療法にはどのような副作用
があるのでしょうか
- 治療法はいつまでに決めなければ
ならないのでしょうか
- 生活の中で制限される事は何か
ありますか

●ご家族について

- 家族に負担をかける事はないの
でしょうか
- 子供がまだ幼いのですが、どの
ように伝えればよいのでしょうか
- 私のがんは、遺伝的な物でしょ
うか。
家族ががんになるリスク(可能
性)はあるのでしょうか

お気軽にご相談
ください